

授業科目名	社会学(2000020)		
時間割名	社会学(34101)		
時間割担当	井上眞理子		
実施期	前期	単位数	2 選択
曜日・時限	水・4		

授業の目標・概要

「社会学ってどういう学問だろう?」と思っているあなたへ。この授業では、現代日本のさまざまな問題、たとえば家族の絆のゆるみ、インターネット社会、高い自殺率、いじめ、少年非行、ブランド志向等を具体的な素材として取り上げ、社会学で分析していきます。社会学のテーマは多彩で、いわば「何でもあり」なのですが、問題を見る視点、分析の仕方、理論的枠組みに社会学の独自性があります。この授業で、あなたに社会学の楽しさを十分に味わってもらいたいと考えています。

学習の到達目標

「現代の青年は「無気力・無関心」と言われていますが、学生の皆さんがこの授業を聴きまた学習することで、社会のさまざまな問題にいきいきとした関心をもってくれれば、成功!と思います。さらに欲を言えば、新聞の記事やTVのニュースをじっくりと読みかつ視聴し、その問題について自分の頭で考え、自分のことばで意見を述べてくれれば、大成功!!です。

授業方法・形式

具体的な社会問題・社会現象ととの間の往復運動を繰り返し、学生の皆さんが社会学の考え方、概念、理論を用いて問題を分析し、解決法を見出す面白さを実感できるように工夫します、たまには具体的問題の分析・解決について教室で小レポートを書いてもらうことがあるかもしれません。

授業計画

- 、現代日本の家族の概容
- 第2回、さまざまな家族問題・・・ 子ども虐待の増加
- 第3回、さまざまな家族問題・・・ 離婚の増加と親の離婚に巻き込まれる子どもたち
- 第4回、家族の社会学理論
- 第5回、インターネット空間の人間関係
- 第6回、現代の青少年とインターネット
- 第7回、インターネットの社会学理論
- 第8回、さまざまな青少年問題・・・ いじめと仲間集団
- 第9回、さまざまな青少年問題・・・ 少年非行は激増・凶悪化しているか
- 第10回、さまざまな青少年問題・・・ 少年非行の社会学理論
- 第11回、現代人のブランド志向・・・ 現代人は他人指向型
- 第12回、現代人のブランド志向・・・ 消費の社会学理論
- 第13回、社会的絆の弱まりと自殺・・・ 日本は自殺大国
- 第14回 社会的絆の弱まりと自殺・・・ 過労自殺と職場の問題
- 第15回、自殺の社会学理論

成績評価の基準

- 期末試験・・・80%
- 授業態度・・・20%

授業時間外の課題

メッセージ

教材・教科書

特にありません。

参考書

- 井上眞理子編『家族社会学を学ぶ人のために』世界思想社
- 井上眞理子『リスク・ファミリー：家事調停の現場から見た現代家族』晃洋書房